

## 1. 授業の概要(ねらい)

この授業は、春学期の「社会学フィールド調査法」を履修し、フィールドワークについての基礎的理解を既に形成している学生を対象とし、その実習を通してフィールドワークという社会調査技法のさらなる実質的定着をめざすものである。

履修学生は、それぞれの興味に沿って可能な問題設定を行い、しかるべきフィールドを選択し、調査計画をたて、調査活動を行い、その成果を発表し、レポートとしてまとめるという一連の作業を半期をかけて行う(少人数のグループで共通のテーマを扱うも可)。授業内では、フィールドワークの各段階で作業の進捗状況についての報告と討議を行い、参加者の間で作業内容をシェアすることを通して、調査戦略を適宜軌道修正しつつ、最終成果発表・成果報告書の作成へとつなげていく。その共有プロセスを通して、自分のフィールドと自分の採用した技法にとどまらない、様々なフィールド、様々なフィールドワーク技法についての、またフィールドワークという調査法の可能性と課題についての、理解を深めていくことができるだろう。

## 2. 授業の到達目標

フィールドワークという社会調査技法を、その実践を通じて修得する。

## 3. 成績評価の方法および基準

調査の各段階における進捗状況報告(50%)、最終発表およびレポートの提出(50%)によって評価する。

## 4. 教科書・参考文献

教科書  
特になし。

## 5. 準備学修の内容

フィールドワークの実質的作業自体は各履修学生が授業時間外で行うことになる。

## 6. その他履修上の注意事項

授業外で各自で行うべき作業量の多い授業である。この作業を主体的に進められることが、授業履修・単位修得の必要条件となる。

なお、「社会学フィールド調査法」を修得済みであることがこの授業履修の条件である。

授業はZoomを使用した遠隔授業となりますので、対応できる通信環境を整えておいてください。

## 7. 授業内容

【第1回】	授業についての説明、調査計画書フォーム配布
【第2回】	調査計画の提起・検討
【第3回】	調査計画の検討・修正
【第4回】	調査計画確定
【第5回】	フィールドノーツの検討(1)
【第6回】	フィールドノーツの検討(2)
【第7回】	調査中間報告と討議(1)
【第8回】	調査中間報告と討議(2)
【第9回】	調査中間報告と討議(3)
【第10回】	調査中間報告と討議(4)
【第11回】	調査中間報告と討議(5)
【第12回】	調査中間報告と討議(6)
【第13回】	調査中間報告と討議(7)
【第14回】	最終成果発表会(1)
【第15回】	最終成果発表会(2)